

令和元年度 第3回 十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事要旨

日時：令和2年1月28日（火）15:00～16:00

場所：とち消防局3階 屋内訓練場

■ 出席委員（22名）

志賀委員、大瀧委員、泉委員、鳥本委員、荒委員、松山委員、森山委員、山本委員、
鳴海委員、吉田委員、仲沢委員、鈴木委員、小倉委員、梶浦委員、三浦委員、松原委員、
寺嶋委員、福原委員、松田委員、元木委員、長沢委員、金子委員

■ オブザーバー

音更町、士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、
幕別町、池田町、豊頃町、本別町、浦幌町、帯広市

十勝圏複合事務組合、十勝総合振興局

医療・福祉作業部会、教育作業部会、産業振興・地産地消作業部会、環境作業部会、
人材育成作業部会、企画作業部会、消費生活作業部会、電算システム作業部会

■ 事務局

中里政策室長、竹川政策主幹、斎藤政策主査

■ 会議次第

1 開会

2 議事

(1) 意見交換の進め方について（資料0）

(2) 第3期共生ビジョンに係る意見交換（資料1～2）

3 その他

4 閉会

■ 議事要旨

1 開会

- 座長から挨拶

2 議事

- 委員 29 名中、22 名の委員が出席し、過半数に達しており、設置要綱第 6 条第 2 項の規定により、会議が成立していることを報告
- 会議資料の確認

(1) 意見交換の進め方について

【座長】

それでは、議事に入ります。はじめに「(1) 意見交換の進め方について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料 0 をご覧ください。本日は、管内全市町村の住民を対象に実施したパブリックコメントの結果と第 3 期共生ビジョンの最終案について協議を行います。最終案については 3 月中にとりまとめ、策定・公表する予定です。

本日の進め方ですが、事務局からパブリックコメント結果と最終案について一括して説明します。その後、まず、パブリックコメントに関して、次に、第 3 期共生ビジョンの内容について、質疑をいただきます。パブリックコメントについては、事務局が整理した考え方に対するご質問を中心とします。最終案については、附属資料として、これまでの議論をまとめたものを添付しています。特に第 2 回目の懇談会でのご意見について、考え方を整理していますので、ご質問、ご意見等をお願いいたします。最後に、全体を通して、ご意見があれば、ご発言をお願いします。なお、今回は最終案であり、大きな修正は難しいことから、今後の取り組みに関するご意見については、来年度以降に協議を行いたいと考えています。

留意点ですが、附属資料の中に事業費一覧がついています。現在、各市町村の予算編成中であるため、3 月の策定・公表の際に追加ということをご理解をいただきたいと思います。

共生ビジョンの策定期間ですが、基本となる市町村間の変更協定書を各市町村議会で議決していただく手続きが必要となるため、現在のところ 3 月末日に公表していく考えです。

説明は以上です。

【座長】

ただ今、事務局から説明がございましたが、事務局から一括して説明後、はじめに、資

料1のパブリックコメントに対する考え方について、その後、資料2の最終案の66頁以降にまとめられた前回までの意見に対する考え方について、ご不明な点などあれば、ご質問、ご意見をお願いいたします。

最後に、資料2の第3期共生ビジョンの最終案について、全体を通して、ご質問、ご意見ををお願いします。

なお、今回は最終案であるため、今後の取り組みについてのご意見は附属資料に記載し、来年度以降の参考としていくとのことですので。

ただ今の説明について、ご質問などありませんか。

(質問・意見なし)

【座長】

それでは、事務局の説明どおり、懇談会を進めてまいります。

次に「(2) 第3期共生ビジョンに係る意見交換」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料2、パブリックコメントの結果について説明いたします。昨年12月2日から1月6日まで、十勝管内19市町村で実施し、3名5件のご意見をいただきました。その取り扱いについては、共生ビジョンの案を修正するものは0件、既に案に盛り込んでいるものが3件、今後の参考とさせていただくものが1件、その他意見として伺ったものが1件と整理したところです。

1件目から3件目までは、いずれも公共交通に関するご意見です。

1件目は、2章の圏域の概況、(4)産業振興の交通関係の項目の中に鉄道の項目がないのは、同じ公共インフラの重要性を論ずる面で疑問であり、鉄道の項目を追加し、路線の維持・充実・強化を盛り込むべきである、とのご意見です。鉄道については、共生ビジョン34ページの地域公共交通の項目において、現状や課題について記載しております。鉄道路線の維持・充実に向けては、北海道が中心となって、沿線自治体等と連携しながら取り組みを進めており、十勝圏域においても、十勝圏活性化推進期成会などを通じて、JR根室線の全線維持などを国に要望してきていることから、定住自立圏以外の枠組みでの取り組みとして、「その他」と整理しています。

2件目は、公共交通機関の利用促進の具体策が不明であり、行政職員が率先して公共交通機関を利用することや、強力なモビリティ・マネジメントを実施することなどの具体策を盛り込むべきである、とのご意見です。また、3件目は、地域公共交通の利用促進の取り組みの具体策が不明で、公共交通機関の利用促進や、モビリティ・マネジメントの実施を盛り込むべきであり、事業費見込が調整中となっているが、予算を計上し、積極的な対応を

すべきではないかというご意見です。共生ビジョン 58 ページの「協定に基づき推進する具体的な取組」では、モビリティ・マネジメントの推進や観光資源を活用した利用促進に取り組むことなどを記載しており、これまでも、ノーカーデーや交通環境学習の実施などの公共交通の利用促進に取り組んできております。今後も、共生ビジョンに基づき、持続可能な交通ネットワークの維持・確保に向け、関係機関と連携しながら、必要な取り組みを進めていくことから「既記載」としてしております。なお、「事業費見込」については、各市町村において、各年度の予算が成立したのち、それぞれ更新を予定しており、3月の公表までに次年度の予算を掲載する予定です。

次に、人口減少に伴う労働力不足を補うため、外国人の受入が十勝でも加速していくと思われ、様々な分野において外国人と地域との共生についての取り組みをどのように進めていくのか、対策等を知りたいというご意見です。外国人と地域住民との共生については、幅広い分野で課題が指摘されていますが、その対応や仕組みづくりについては、国や北海道においても、ワンストップ型の相談窓口の設置をはじめ、今後進んでいくところであることから、「参考」と整理しております。

最後に、深刻な人手不足の対策の一つとして、これまで分野別に検討し進めてきた取組項目を、様々な分野間が連携して進めていく方向も探り、19市町村がつながって進められるとよいというご意見です。労働力の不足については、これまでビジョン懇談会などで議論を行うとともに、高等看護学院の運営や介護士の確保、農業者の育成等を共生ビジョンに位置づけ、広域的な取り組みを進めてきており、「既記載」としてしております。分野間の連携についても意識しながら、今後も取り組みを進めていきたいと考えております。

なお、匿名での提出のため、パブリックコメントの意見としては取り扱わないものが1名1件ありました。以上が、パブリックコメントの結果です。

次に資料2、共生ビジョンの案をご覧ください。数字の修正や文言の整理、附属資料の追加など、事務局で整理した部分がありますので説明いたします。

まず、3ページの十勝の概況の4段落目、農協取扱高と食料自給率を令和元年度の数字に更新しています。20ページの農業の項目でも同様の記述があり、数字を更新しています。同じく3ページ以降の19市町村の概況ですが、音更町、中札内村、更別村、広尾町、幕別町の記述を修正しています。なお、今後、各市町村の1月の住民基本台帳の人口を集約し、最新の数値として、3月の公表までに置き換える予定です。

次に18ページ、教育分野、社会教育施設・社会体育施設の設置状況について、本文と一覧表の数字を修正しています。

23ページ、林業の項目について、「木材が産出されています」との記述を、「伐採材積は～となっています。」に文言整理を行っています。

29ページ、空港の項目において、利用者数を旅客数に文言整理しています。

30ページ、港湾の項目において、現状を踏まえ、「道東で唯一となる」を削除し、以降の文を文言整理しています。

39 ページの人口の将来展望については、現時点の各市町村人口ビジョンの数値を集約し、更新しております。なお、新しい人口ビジョンを策定作業中の自治体もあることから、今後、集約を行い、3月に公表する共生ビジョンにその数値を盛り込みたいと考えています。

45 ページの高齢者の生活支援体制の構築について、取組概要の表中、●高齢者の見守り事業の充実の「行方不明時における高齢者への支援等」に文言整理を行っています。

55 ページの鳥獣害防止対策の推進について、取組概要の表中、取組効果の部分において、骨子の段階で終了となった「処理方法の検討」の文言が残っておりませんでしたので、削除しております。

62 ページ、基本目標兼成果指標については、パブリックコメントの際、調整中であった十勝管内の観光入込み客数の目標値を、北海道の次期総合戦略のKPIに準じて、1,046万人としております。

63 ページ、自主防災組織の目標値ですが、パブリックコメント終了後に確定した各町村の総合戦略、総合計画等の目標値との整合をとり、596組織から602組織に修正しています。また、調整中であった移住者数の目標値については、各市町村の総合戦略等の数値を基に積算し、令和6年度169人としました。また、現状値については、当初255人としていましたが、過去5年間の移住者数のうち、平成30年度の値が特に大きかったことから、5年間の平均である155人を現状値としました。

次に64ページ以降をご覧ください。今回、附属資料を追加しております。内容は、今年度開催した共生ビジョン懇談会とパブリックコメントのご意見を掲載しており、第3回ビジョン懇談会における意見を追加して完成となります。

65 ページの共生ビジョン懇談会の意見については、昨年10月に開催した2回目の会議における意見と事務局の考え方を追加しております。7番と8番は、地域におけるバイオマスの利活用についてのご意見です。これまで、バイオガスプラントの推進を中心に取り組みを進めてきたところであり、今後も関係機関と連携しながら、広域的な枠組みの中で取り組みを進める旨を記載しております。10番は、防災について、台風によって道路や線路が壊れると、物流の面でもかなり苦勞することを念頭に対処してほしいとのご意見です。大規模な災害の発生を念頭に、道内他地域の自治体とも連携し、引き続き、道路、橋脚等のライフライン施設の耐震化や基幹道路の整備促進に向けた要望を行うほか、防災協定等による対応などにも取り組んでいく考えを記載しています。14番、ICTなど技術の進歩は著しいが、身体が不自由な方や高齢者、子育てしている方などが行動しやすくなるように、様々な配慮や温かい心遣いも必要と考えるとのご意見をいただきました。ビジョン懇談会でも説明いたしましたとおり、あらゆる人を念頭に置いた配慮は、行政のみならず社会全体で取り組んでいく必要があるため、ビジョン懇談会等の機会を通して、様々な分野の方々と改めて認識を共有する旨を記載しています。

最後に、71ページに設置要綱を、72ページに最新の委員名簿を追加しています。

説明は、以上です。

【座長】

それでは、意見交換を行います。はじめに、資料 1 の「パブリックコメント意見募集の結果公表」について、どなたからでも結構ですので、ご意見、ご質問をお願いいたします。

【委員】

パブリックコメントの結果、5 件 3 名から意見をいただいたとなっておりますが、どのような方を対象に意見を募集したのでしょうか。

【事務局】

十勝管内の 19 市町村で実施し、役場等での資料の閲覧のほか、ホームページや SNS、ラジオ等で募集の呼びかけを行いました。

【委員】

特定の人を対象に実施したのではなく、広く一般の方を対象にしたのですね。

【事務局】

そうです。

【委員】

件数が非常に少なかったと思うのですが、もう少し意見を寄せてもらえるような工夫をしたほうがよいのではないかと思います。

【事務局】

多くの意見をお寄せいただきたいと思い、従来のやり方だけではなく、どのようなことができるか検討を行ってきたところです。例えば、過去にビジョン懇談会の委員を経験された方への意見の募集の依頼などの工夫も行ってきました。結果として、件数は 3 名だったので、またどのようなことができるか考えていきたいと思っています。

【委員】

わかりました。今後工夫していただきたいと思っています。高校生や大学生などの若い人の意見をもらえるようなことを考えていただきたいと思います。

【座長】

貴重なご意見ありがとうございました。各市町村のいろんな連携を通じながら、より良い方向にということで皆さんのお知恵を拝借しているので、そういったものができるだけ

周りに伝えていく努力をしていかなければならないと思いますので、皆さん方のご協力をお願いしたいと思います。

ほかにいかがでしょうか。

【委員】

パブリックコメントの鉄道に関する意見について、帯広市の考え方が書いてありますが、これを共生ビジョンに記載することは考えていないのかお聞きしたいと思います。

【企画作業部会】

市としての考え方については、様々な場面を通じて伝えていく必要があると考えております。

【座長】

よろしいでしょうか。要請などほかのところで動いているという背景があるとの説明だと思いたすが。

【委員】

はい。

【座長】

ほかにいかがでしょうか。事務局（案）のとおり了承されたということで、パブリックコメントを扱わせていただきます。それでは、次に移らせていただきます。

資料2「第3期共生ビジョン（案）」の66頁から68頁となりますが、前回まで皆さんからいただいたご意見に対しての考え方の部分で、ご不明な点などありましたら、ご発言をお願いします。

【委員】

次期のビジョンの策定に向けてということで、交通業界の方でも100年に1度の大革命時代と言われております。移動形態が変わってきており、バスだけではなく、タクシーやJR、自転車等、色々なものがつながってきており、乗り換えの負担感を無くすような取組、これがMaaSだと考えています。公共交通の利用促進の取組みは、共生ビジョンの58ページのほうに書いてありますが、次期に向けては、MaaSや路線維持に欠かせない運転者確保の取組みの明記を検討してほしいと思います。

【座長】

今のご意見は、次期あるいは3期の改定のほうに盛り込んでいけるか、事務局の方にご

検討いただきたいと思います。そういうふうなご意見として取り扱わせていただきます。

【委員】

はい。

【座長】

ほかにいかがでしょうか。

【委員】

畜産農家ではバイオガスプラント発電が進んできており、副産物である消化液が利用できる点もよい。完熟が十分でない牛糞の施肥は臭気の問題もあることから、多くの農家の利用を進めていけるようにしてほしいと思います。バイオガスプラントを進めてもらうことで、住みよい十勝になると思います。

送電網の点で、バイオマスや水力などで発電したものを地域でうまく利用できるような、地域でエネルギーを自給できるようにすると災害などで強い地域ができていくのではないかなと思います。

【座長】

今のご意見は、バイオマス等のより幅広い利用と、そこで生み出されたエネルギー等の有効な利用の仕方を、次期の計画でもっとできないかという事を検討できないかというご意見として受け取ってよろしいでしょうか。

【委員】

はい。

【産業振興・地産地消作業部会】

次期ビジョンの取り組みの一つとして、バイオマスの利活用を新たに位置付けております。先ほどご意見のありました消化液の散布など、発電のみならず副産物の活用方法についても調査研究を行い、利活用の促進を併せて図っていくことを考えています。

地域における電気の地産地消につきましては、上士幌町でのマイクログリッドや、鹿追町での自営線など、新たな取り組みが進められてきていますので、管内で情報共有しながら、自給自足に近づけるように取り組んでいく考えです。

【座長】

よろしいでしょうか。今のような、それぞれの市町村等で取り組んでいる情報がもう少し共有されてくると、管内でどうしたらいいのかというヒントがもう少し出てくるのでは

ないのかなと、私、個人的にも考えています。

ほかにいかがでしょうか。今ありましたように、第3期共生ビジョンの全体につきまして、次期でこんなことを検討していただければというようなご意見も出ておりますので、コメントの扱いだけではなく、全体について皆様方からご意見がございましたらお願いしたいと思います。

【委員】

公共交通機関に関して、土幌町ではコミバスやタクシー券の支給などにより工夫している。コミバスは日曜日や祭日に運行しないという現状があり、日曜日に何かイベントをしようとしても高齢者が出てこられない。コミバスは市町村が財源をもってやっていると思いますが、利便性という意味ではもう少し工夫が必要なのかなと。

タクシーは非常に使いやすい交通機関ですが、もう少し安く利用できるようになっていくとお年寄りにとっては使いやすいのではなかとと思います。

【座長】

今のご意見は、今回のパブリックコメントあるいは皆さんから寄せられた意見に対してということではなくて、新たにということを受け取った方がよろしいでしょうか。

【委員】

そうですね。コミバスも、普通のバスと同じように日曜日・祭日に運行ができるというのがこれからのあり方かなと思いますし、タクシーももう少し安く使える様な方向性を打ち出していただければというような意見です。

【企画作業部会】

各自治体の中でそれぞれの状況に応じて、交通機関を運行されている部分があるかと思えます。曜日や路線はそれぞれ自治体において検討された中で決まっていると認識しております。定住の枠組みの中でどのようなことができるか、作業部会で検討していきたいと思えます。

【座長】

よろしいでしょうか。次期の中で、情報共有等を含めながら、何が定住自立圏のビジョンの中に組み込んでいけるかということを考えて行きたいということだったと思います。

他にいかがでございましょうか。

【委員】

全体を読んでちょっと寂しいなと思いました。先ほど若い人達の意見をもらったらい

のではないかという意見がありました。全体を通して、私達が考えなければならないのは次世代が住みやすいまちづくり。そういう地域を十勝でつくっていくという視点があって私たちは集まっていると思います。次世代や子供達という言葉がビジョンの中に出てこない。これは未来をよくするための集まりにも関わらず、現状のことで私達が中心となって話しているのですが、十勝に来る人たちの意見もどんどん聞かないといけないのではないかと思います。今回はそういう点は盛り込めないと思いますが、次期以降は次世代の意見をどうやって吸い上げるのかということを考えていただければと思います。

【座長】

貴重なご意見ありがとうございます。事務局の方、いかがでございましょうか。

【事務局】

第3期のビジョンの中では、例えば、これまでも継続してきた取り組みですけれど、保育所の広域利用などの部分で次世代、子供達の住みやすいような、子育てしやすいようなまちづくりといった視点を持っています。委員がおっしゃるように、未来に向けてというか、次世代に向かってどのようなことができるのかというのは、大事な視点であると考えておきまして、今後の取り組みを考えていきたいと思っています。

【委員】

ありがとうございます。

【座長】

他にいかがでございましょうか。

もしないようでしたら、以上を持ちまして第3期共生ビジョンに関わる意見交換は終わらせていただきたいと思います。事務局におかれましては、本日のご意見を附属資料に付け加えていただいたうえで、今後の取り組み、これからの改訂作業に十分に活かしていただくと共に、参考意見としたものについて、関係する作業部会等で協議を進めていただきますようお願いしたいと思います。

それでは、委員の皆様にお諮りいたします。事務局から提案のとおり最終案を了承することによってよろしいでしょうか。

(異議なし)

異議なしと認めまして、そのように取り扱わせていただきたいと思います。

それでは、議題の3その他に入りたいと思います。事務局から連絡事項等がありましたらお願いします。

【事務局】

今後のスケジュールについてご説明いたします。今年度のビジョン懇談会は本日が最後となります。先ほど前段でもお話ししましたが、3月末日に共生ビジョンを策定・公表する予定です。完成しましたら皆さまのお手元に最終版をお届けします。

来年度ですが、夏の終わりから秋頃に第1回のビジョン懇談会を開催する予定です。第3期共生ビジョンの取り組みの進捗状況等を報告させていただきたいと考えております。また、これまで同様にビジョンの見直し、改定等を進めてまいりたいというふうに考えております。事務局からは以上です。

【座長】

ただいまの説明に関してご質問ございませんでしょうか。

最後になりますが、皆さまの方から全体を通じての確認等がございましたら、お願いします。

(質問・意見なし)

以上を持ちまして本日の会議の日程をすべて終了させていただきたいと思います。円滑な会議運営にご協力いただきましてありがとうございました。

これもちまして、第3回目の懇談会を閉会させていただきたいと思います。ご苦労様でございました。